

職能科通信 53号

2022年9月発行

職能科通信

検索

〒243-0121
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川県リハビリテーション病院
職能科
TEL&FAX 046-249-2571

残暑厳しい日々が続きますが、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

職能科では、神奈川県民のお皆様、並びに関係機関、企業の皆様へ、年3回発行の職能科通信を通して、事業報告、訓練プログラム紹介、実践報告、事例・障害特性・支援技術の紹介、研修・講習会等のご案内・報告を行っております。

今回は、これから開催される講習会のご案内をさせていただきます。

【2022年度 脳卒中の方の就労支援

～地域の支援ネットワークを活用した伴走型支援を実現するために～】

地域リハビリテーション支援センター主催の上記タイトルのセミナーを2022年10月29日（土）13:10～16:30の日程で、神奈川県リハビリテーション病院にて実施いたします。今回は、回復期病院を退院後、地域に戻られた主に介護保険2号被保険者の脳卒中患者さんに関わる復職・新規就労に向けた支援の考え方について学んでいくセミナーを企画しました。

今回のテーマは「地域の支援ネットワークを活用した伴走型支援」としてあります。急性期の治療段階から在宅復帰後の維持期段階まで、「伴走型」で患者さんの就労に向けた相談にシームレス対応できることが理想ですが、患者さんの回復とともに医療機関・支援機関が変わっていく現状があります。

患者さんの就労に向けた相談をシームレスに受け止めるためには、医療・介護・障害といった支援制度の垣根を越えて、それぞれの機関が有機的に連携することが必要になります。今回のセミナーでは、障害福祉分野から、秦野市地域生活支援センター“ぱれっと・はだの”障害福祉なんでも相談室で就労支援に携わっておられる就労支援員の森基夫氏より、秦野市基幹相談支援における就労支援の役割や実際の取り組みについてお話いただきます。また、医療介護保険分野から訪問 R-s t a t i o n 理学療法士の田代宙氏より、脳卒中患者さんの社会参加・就労を見据えた在宅訪問リハビリの取り組みの実際についてお話をいただきます。

また、今回は脳卒中当事者・家族である小倉牧男・小倉道子氏を講師としてお迎えして、お話をさせていただく予定です。小倉道子氏は当事者ご家族として、オンラインを活用した家族会を運営されています。小倉牧男氏は脳卒中後ケアマネージャーとして復帰、専門職として働かれる一方で、当事者会でも中心的な役割を果たされています。

今回は当事者・家族および各分野の支援者が、お互いの役割や立場を知り、有機的なネットワークを構築するための一助となればという思いで企画したセミナーです。ぜひ振ってご参加いただけると幸いです。（社会福祉士・精神保健福祉士 小林 國明）



【脊損リハビリテーションセミナー】

神奈川県リハビリテーション病院主催「脊損リハビリテーションセミナー ～脊髄損傷者の可能性を広げる総合リハビリテーション」を2022年11月26日(土)～27日(日)、全国の医療従事者を対象に開催いたします。

プログラム内容は1日目に医療・総合リハビリテーション編にて、医師・看護師より医学的管理や日常生活動作方法や、理学療法士・作業療法士など多職種による総合的な取り組みの講演を行います。2日目は地域生活編にて、ソーシャルワーカーが制度活用や在宅に向けての支援について、職能科から社会参加から就労支援の実際について講演を行う予定です。

脊髄損傷者の社会参加は公共交通機関のバリアフリーが進み、移動できる環境が増えつつありますが、実際は自立した社会活動を獲得するまでに多くの時間を要している印象があります。その要因として情報不足や障害受容などの課題があり、そとに出かけるきっかけを見つけにくいことが考えられます。

職能科では、入院中から社会参加を見据えた情報提供や対処方法を検討し「そとに出てみたい」と思えるような、一歩を踏み出すきっかけづくりとして外来訓練を行っています。講演では社会参加から就労支援へ、事例を中心に講演予定ですので、参加をご希望の方は当院ホームページにて、9月初旬より申し込みが開始されますのでご確認ください。

(作業療法士 露木拓将)

【高次脳機能障害セミナー 実務編】

地域リハビリテーション支援センター主催の上記タイトルのセミナーを12月10日(土)の日程で、脳損傷等による高次脳機能障害者に関係する保健・医療・福祉・行政関係者等を対象として、厚木市神奈川工科大学 IT エクステンションセンターで開催いたします。

高次脳機能障害者は、脳損傷後に記憶障害・注意障害・遂行機能障害・社会的行動障害等が生じ、日常生活に何らかの支障が生じます。その症状をどのように捉え(評価)、どのような対応をしていけばいいのか、リハビリテーション医、理学療法士、作業療法士、心理師(士)、職業指導員、ソーシャルワーカー等の専門職の見地からリハビリテーションやアプローチのヒントについてお話いたします。

職能科では高次脳機能障害の入院・外来患者さんへ、社会参加や就労支援を含めた職業リハビリテーションサービスを提供しております。支援の概要や事例についてお話をしていきたいと考えております。

セミナーの参加申し込みにつきましては、病院ホームページに掲載されますので、ご興味のある方は是非ご参加いただければと思います。

(社会福祉士 進藤 育美)

